

【5】すごろくなど テキスト502

対象学年：小学3年生以上

新幹線すごろく

指導案

ごあいさつ

日本の国を好きになる、誇りに思う心を育む授業内容として「日本のものづくり」をテーマにとりあげることがあります。例えば私たちの身近にある「新幹線」には、世界に誇る日本のものづくり技術がたくさん取り入れられています。日本の新幹線は世界中で注目されており、その技術は海外にも輸出されています。このような日本のものづくり技術を子どもに伝えるのは教師の大切な仕事です。

子どもたちが大好きな「新幹線」、その仕組みや技術、働く人々などについて楽しく学ばせたいと思います。日々の授業で是非、ご活用ください。

TOSS 代表 向山洋一

【5】すごろくなど テキスト502

「なるほど新幹線すごろく」

対象学年：小学3年生以上（1時間）

1. 学習のねらい

- ① ルールを守って友達と楽しくすごろくで遊ぶ。
- ② 東海道新幹線クイズに答えることにより、様々な知識を得、技術や仕組みに興味を持つ。

2. 準備するもの

- ① すごろくの用紙（班に1枚）
- ② 駒の用紙（班に1枚）
- ③ サイコロ（班に1個）
- ④ 筆箱・はさみ（各自）

※ 家で行う場合は、①～④まで各1つずつ準備する。

3. ルール

- ① ジャンケンをして勝った順にサイコロをふる。
- ② 駒の用紙に付いているクイズの答えは、予め切り離して教師（※ 家で行う場合は代表1名）が持っておき、クイズに答える度に子どもが教師に答えを聞きに来るようにする。
- ③ ゴールを通過したら終了（ゴール）とみなす。（きっちりゴールしなくて良い。）

4. 展開

(※ 教室で行う場合を以下に示す。家で行う場合は、ルールを代表1名が読み、始める。)

説明 1 今から「新幹線すごろく」を班でします。(すごろくの用紙を見せる)

説明 2 すごろくにはクイズが書いてあります。
答えは、本人が先生のところに聞きに来ましょう。

説明 3 通過したらゴールです。ちょうどの数でゴールする必要はありません。
その他、分からないことがあれば聞きに来ましょう。

説明 4 駒の説明をします。(駒の用紙を見せる)
好きな駒の色を決め、はさみで切り取ります。
丸の中に簡単に顔を描いたら、それが自分の駒です。
色が重なった場合は、ジャンケンで決めなさい。

指示 1 筆箱を出しましょう。

指示 2 机を班の形にしましょう。

指示 3 ジャンケンをしてサイコロを振る順番を決めなさい。
決まった班は座ります。
全員起立。

指示 4 全員前を向きなさい。

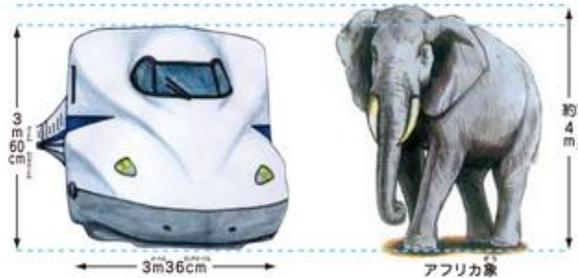
指示 5 今から、すごろくと駒の用紙とサイコロを配ります。
準備が出来た班から始めましょう。
では、班の代表1名が取りに来なさい。

5. クイズの答えと解説

問題 1 新幹線の高さは、次の動物のうち、どれとほぼ同じでしょうか。

答 え ② ゾウ

解 説



問題 2 ふじ（富士）の付く言葉を1つ言う。

解答例 富士額、千代の富士、富士塚、富士講

問題 3 新幹線は、1日に何本走るでしょうか。

答 え ③ 320本

解 説

1日約320本!

1日の運行本数は約320本です。
1964年の創業時はわずか60本
でした。



問題 4 トンネルの数はいくつあるでしょうか。

答 え ③ 66か所

解 説

トンネルの数は全部で66か所あります。

この中で1番短いトンネルは、新横浜と小田原の間にある第一大和トンネルで、長さはわずか30mです。そして1番長いトンネルは、熱海と三島の間にある新丹那トンネルで、長さはなんと7959mもあります。



問題 5 1つの列車（16両）に何人乗ることができるでしょうか。

答 え ② 約1300人

解 説

新幹線の1編成は16両なので、全部あわせると約400mにもなります。

1つの列車に約1300人乗ることができます。

